

focus the
KAKO

1学期終業式

7月17日(金)、第1学期の終業式がリモートで行われました。校内作文コンクールの表彰、部活動の活躍の披露に続き、2年生の各学科代表が所感発表を行いました。

有水悠真さん(2F1 吉野中)は1学期に得た教訓をもとに、夏休みから、学習面では計画的に勉強を進めること、部活動では、硬式野球部員として、人の役に立つことを何でも率先して実践すること、精神面ではプレッシャーに負けず、常に堂々とした自分であること、という目標を立てたことを述べました。

中嶋心春さん(2EE2 川内南中)はテストと戦った1学期だった、と振り返り、苦手教科を中心に勉強することによって、徐々に苦手を克服できるようになり、計画を立てることの大切さを実感したと言います。放送部員として、聞く人に伝わる語りができるようになる、という目標に加え、この夏は新たに小説執筆にも挑戦

したい、と抱負を述べました。

竹下優香さん(2J4 加治木中)は、足首の手術をし、バスケットボール部の練習に加われない時期に、支えてくれた祖父が亡くなったという不幸があり、苦しい時期を過ごしたことを語り、リハビリに耐え、インターハイ県大会に出場するまでに回復しましたが、「絶対勝つ」という強い気持ちが必要だという新しい課題もみがかったと言います。

3人とも充実した1学期を送り、さらなる飛躍を力強く誓った所感発表でした。

校長先生は「計画どおりにすべて実施できた1学期でした。先ほども紹介したとおり、部活動をはじめとして数多くの賞状を披露できました」とのお話の後、2040年問題に触れて、「職業選択の傾向が変化しつつあるということも、進路選択の参考にしてほしい。」と述べられ、夏休みの過ごし方が進路に直結する、と述べられました。



名称募集!! スポーツ交流イベント

来年3月に行われる市内私立4校(鹿児島実業、樟南、鹿児島情報 本校)によるスポーツ交流イベントの名称を募集します。8月21日締め切り! 詳しくはクラッシーで奮って応募ください。

focus the
KAKO

全国大会出場者壮行会

7月17日(金)、本校体育館にて、夏の全国大会に出場する部、個人の壮行会が行われました。今年、全国に挑むのは、陸上競技部、駅伝部、フェンシング部、水泳部、和太鼓部、放送部、個人としてボクシング、囲碁、将棋のみなさん。校長先生から、「60名を超える選手を全国に送り出せるのは学校の誇り。向き合うのは対戦相手ではなく自分自身。見ている人に勇気と感動を与えてほしい」と激励の言葉が贈られ、同窓会長の淵村文一郎様より、同窓会からの激励金が贈られました。また三弧会長の山崎丈瑠さん(3EE2 清水中)が生徒代表激励の言葉を述べ、硬式野球部のリードで選手にエールを贈り、壮行会を締めくくりました。



focus the
KAKO

第56回 校内作文コンクール 特選

◎1年

「記憶に残される思い」 平野明咲(1F1 鴨池中)
「努力を積み重ねることの意味」 茶園悠斗(1ET1 伊集院中)

◎2年

「安楽死と命の選択」 泉幸夏(1J4 鴨池中)
「家族の距離と温もり」 松山湊人(2F5 武中)
「学びの先にあるもの」 井口佳保(2EE1 甲南中)
「静かな会話」 田口優奈(2J5 和田中)

◎3年

「あの日の影が光るまで」 後藤愛彩(3F1 阿室中)
「バイリンガルになるには」 柿木夏實(3EE1 鹿大附属中)
「面倒くさいと思ったその先に」 永井凜風(3J2 松元中)



Scio(スキオー)の意味

知るを意味するラテン語„science(科学)の語源にあたるscientia(知識)は、Scioの派生語とされています。

他人のモノサシから、自分の未来へ

「何のための勉強か」を問い直す

生徒のみなさんと面談をしていると、よくこんなやり取りがあります。「志望校は？」と尋ねると、「国公立大学です」という返答や、特定の大学名が返ってくる。しかし、「では、その大学で何を学びたいの？」と歩踏み込んで聞くと、途端に言葉に詰まってしまう。そんなことが少なくありません。

学校名は出るけれど、そこで過ごす時間のイメージが決まっていない。このような状態は、「大学に行くこと自体が目的になり、「大学で何を学ぶか」というビジョンがすっかり抜け落ちてしまっていると言えます。

確かに、国公立大学の学費の安さは大きな魅力ですが、有名大学のブランド力に憧れるのも自然なこと。しかし、そうしたネームバリューやイメージだけに縛られて進路を決めてしまうと、実は非常に大きな見落としが生じてしまいます。

「進路のミスマッチ」が起きる理由

ここで、少し客観的なデータに目を向けてみましょう。大学を中退する学生の理由として、常に上位に挙がるのが「学業不適応」です。つまり、「大学の授業に興味を持てない」「思っていた内容と違った」という、いわゆる進路のミスマッチです。

苦しい受験勉強を乗り越えて、念願の大学に入学したはずなのに、なぜこのようなことが起きるのでしょうか。原因のつは、彼らにとってのゴールが「大学の合格」になっていたからです。イメージだけで選んだ結果、入ってみたい興味のない分野の講義ばかりで退屈してしまうのです。

ブランドやイメージは、外側を飾る看板のようなものです。大切なのは、その看板の奥にある4年間という時間の中で、自分が一体どんな教科書を聞き、どんな講義を聞き、どんな研究に没頭するのか。

それらへの具体的な想像力を持つことです。

これは大学進学に限らず、専門学校への進学や就職を選ぶ場合も全く同じです。「なんとなく楽しそうだから」という表面的な憧れだけで選ぶのではなく、その先にある地道な実習や仕事の「実態」にまで、どれだけ具体的に目を向けられているかが重要になります。

ですから、「大学に行くために勉強する」という狭い枠組みで終わらないでほしいと思います。そうではなく、「○○という分野を学び、将来○○な仕事をしたい。だからあの大学へ行く。そのために今、勉強しているんだ」というところまで、考えを広げてみてください。

受験の壁を乗り越える「自分事感」

受験勉強は、決して楽な道のりではありません。思うように模試の成績が伸びなかったり、周囲と比べ焦ったり、机に向かうのがどうしても辛くなったりする瞬間が、誰にでも必ず訪れます。

そんなとき、くじけそうな自分を支え、もう一度机に向かわせる原動力になるのは「体どころか心でしようか。」「なんとなく良いイメージの大学に行きたいから」という理由でしょうか。それとも、「自分は将来、○○の仕事に関わりたい。だからあの大学のある学科で、専門的な知識を学びたいんだ」という理由でしょうか。

心理学では、前者を「外発的動機(他人の評価を意識したやる気)」、後者を「内発的動機(自分の内側から湧き出る関心によるやる気)」と呼びます。

本当に苦しい局面で粘り強さを発揮し、前を向いて進み続けられるのは、やはり後者の動機を持った生徒です。なぜなら彼らは、勉強を「させられているもの」ではなく、「自分の未来のために、自分自身のためにしていること」という強い「自分事感」を持っているからです。

自分自身との対話を始めよう

進路を選ぶということは、偏差値やネームバリューといった「誰かが決めた既存の価値」に自分を無理に当てる作業ではありません。自分の心が何に動き、何に疑問を感じ、どんな未来にワクワクするのかを、自分自身と丁寧に対話して見つけ出す作業です。

「他人のモノサシ」を一度手放してみよう。そして、「私は大学という場所、何に出会いたいのだろう」という問いを、自分に投げかけてみてください。

進学指導部には、各大学や専門学校の学問内容、入試制度の資料、先輩たちの受験レポートなどがたくさん揃っています。悩んだとき、何から調べればいいのか分からなくなったときは、いつでも気軽に相談に来てください。みなさんが「自分だけの未来」に向かって、前向きな一歩を踏み出せることを応援しています。

進学指導室・木下 奏一朗



「第15回」美術科・日置 誠先生
展覧会を見に行こう!

今月は美術科の日置先生の登場です。アーティストが推すアーティスト。興味深いですよ!

今年も夏休みがやってきました。このシーズン、鹿児島県内各地でも見所のある様々な美術展が開催されています。鹿児島市立美術館では、ミッフィーのデザイナーディック・ブルーナーの展覧会「美術館に行こう」、霧島アートの森では落合陽一の「天孫降りるってよ」、枕崎の南浜館では野性爆弾くつきーの「くつきーー乙女展in枕崎」などです。ディック・ブルーナーはさておき、落合陽一や野性爆弾くつきーーはテレビやYouTube等でも頻繁に見かけますから「ただのタレントじゃないの?」「芸能人じゃないの?」と思われる方が多いかも知れません。しかし、彼らは優れた美術家として世界的に知られています。

落合陽一の父親と言えば、国際ジャーナリストの落合信彦です。年配の先生たちや皆さんのお父さんお母さん、お祖父さんお祖母さんの世代には、1987年から販売が始まったアサヒビールの「スーパードライ」の初代CMキャラクターとしてテレビCMに登場し、強い印象を与えた人物です。さて、落合陽一の作品はデジタルアートやメディアアートと言われる最先端の表現様式を取っています。パソコンやデジタル機器を駆使して資料を収集し、構成し、形や色を考え、新たな表現を考えていきます。それらは静止画であったり、動画であったり、プリントアウトされた平面作品であったり、立体作品であったりします。しかし、その表現

内容は人類の存在や根源的なものの、人類が歩んできた道のり、これからの未来についての考察を表現しています。特に今回の展覧会では日本の天孫降臨の地である、霧島をテーマにして制作しています。鑑賞する私たちもちょっと難しいことを考えながら作品を鑑賞しなければならぬのかと身構えてしまいがちですが、そんなことはないです。色や形、気になる部分を自分の感性で自由に見てみましょう。

一方、野性爆弾くつきーーについては、極めてアナログな表現手段を取っています。ペンとアクリル絵の具を使って手描きで作品を作っています。今回の展覧会のテーマは「乙女」ですが、人間の感性を大切に、ふと思いがた、事・感じた事・アイデアを表現しています。くつきーーのワイルドな外見で面白い芸風とは異なり、作品は繊細でデリケートな内容が作品となっていて、観る人々の感性をくすぐるものとなっています。

対照的な表現方法をとる二人を紹介しましたが、面白いのはいずれも美術家の常道と思われるデッサンの訓練をしたり、美術学校を出ている訳ではありません。しかし、二人は自分が感じたり考えたことを形や色として表現したいと考え、それを継続したからこそこうしてアーティストとして認められています。彼らの作品を鑑賞する私たちもしなやかな感性をもって観たいものです。



陸上競技部

7月3日～5日

鹿児島県陸上競技選手権大会
兼国民スポーツ大会予選会

〔一般種目・大学生・社会人と同じ区分〕

〔女子棒高跳〕

優勝 西美結(3EE1 城西中)

第4位 米澤真凜(2F6 修学館中)

〔女子三段跳〕

第4位 田中愛樹菜(2F5 城西中)

第5位 武藤あんり(3EE1 天保山中)

第6位 池崎はのか(2J5 出水中)

〔女子七種競技〕

第2位 齊藤礼羅(3F4 伊集院中)

〔女子砲丸投〕

第3位 南越(3EE2 緑丘中)

第6位 山田玲衣(1J1 桜丘中)

〔女子やり投〕

第4位 久場美優(2F3 紫原中)

第5位 南越(3EE2 緑丘中)

〔女子ハンマー投〕

第3位 山元南穂(3J4 吉野中)

〔女子400mハードル〕

第3位 上園美羽(3F8 高山中)

〔女子100mハードル〕

第5位 上園美羽(3F8 高山中)

第6位 土屋里穂(2J3 鹿屋東中)

〔女子400mリレー〕

第4位 青木乃愛(1F5 高尾野中)

中村梨緒(1F8 出水中)

土屋里穂(2J3 鹿屋東中)

中窪心咲(3F5 伊集院中)

〔女子1600mリレー〕

第4位 有馬理央(3F8 星室中)

上園美羽(3F8 高山中)

森ひなた(3J3 川内南中)

平原結衣(3F3 吉野中)

〔男子400mハードル〕

第2位 橋元翔琉(3J4 野田中)

※県高校新記録

〔男子走高跳〕

第3位 垣内大河(3J4 和田中)

〔男子棒高跳〕

第4位 井上連斗(3F3 紫原中)

〔男子十種競技〕

第2位 田中尚希(3F8 菱刈中)

〔男子1600mリレー〕

優勝 橋元翔琉(3J4 野田中)

藤井楓多(3F5 紫原中)

池田風雅(3F8 甲南中)

堀之内光熙(3F8 松元中)

〔男子400mリレー〕

第4位 河野陽夢向(2J3 北指宿中)

橋口水河(3J3 川内中央中)

藤井楓多(3F5 紫原中)

山口信右(2J4 紫原中)

※標準記録突破者

新納源大(100m・110mH・3F5 重富中)

中村愛花(全種跳・3EE1 附属中)

本成績により標準記録突破者とリレーも含め

合計で25種目45人(個人種目21・リレー6人

×4種目)が、8月21日(金)から宮崎県で行わ

れる九州選手権への出場権を獲得しました。

〔ジュニア種目(高校生・中学生の区分)〕

〔女子100mハードル〕

第2位 土屋里穂(2J3 鹿屋東中)

第3位 上園美羽(3F8 高山中)

〔女子300mハードル〕

第2位 平原結衣(3F3 吉野中)

第3位 下田純菜(2J2 伊集院中)

〔女子100m〕

第3位 青木乃愛(1F5 高尾野中)

〔男子110mハードル〕

第2位 新納源大(3F5 重富中)

〔男子300mハードル〕

第2位 堀之内光熙(3F8 松元中)

〔男子300m〕

第3位 藤井楓多(3F5 紫原中)

また、大会では鹿児島県陸上競技協会による

2025年度の表彰も行われました。

〔最優秀選手賞〕 松下 怜R4卒／順天堂大

〔最優秀審判賞〕 松下 怜R4卒／順天堂大

片野坂唯月(R4卒／中京大)

駅伝部

7月3日～5日

鹿児島県陸上競技選手権大会
兼国民スポーツ大会予選会

〔一般種目(大学生・社会人と同じ区分)〕

〔女子800m〕

優勝 荒木美伊奈(2F7 国分中)

第4位 今村心春(1F4 鴨池中)

※県高校新記録

第6位 山口優月希(1F8 集人中)

〔女子1500m〕

優勝 荒木美伊奈(2F7 国分中)

〔女子3000m(障害走)〕

第2位 瀬戸口夏凜(3F1 帖佐中)

〔男子1500m〕

第3位 福岡和真(3J1 川内北中)

※春夏選手権入賞者

佐多美奈美(5000m・5000mW・3J1

松元中)・久木田華(5000m・2F4 東条山

中)・山下心暖(5000m・2J4 宮崎城中

・白木川 浩貴(5000mW・3F2 帖佐中

・中道佳大(5000mW・3ET1 南指宿中

・末野 晟琉(5000mW・2F3 城西中)

本成績により春夏選手権入賞者も含め合計で11

人が、8月21日(金)から宮崎県で行われる九州選

手権への出場権を獲得しました。

〔ジュニア種目(高校生・中学生の区分)〕

〔女子1500m〕

第2位 早崎夕璃(1EE1 伊敷台中)

第3位 今村心春(1F4 鴨池中)

〔男子800m〕

第3位 児島佑太郎(1F5 出水中)

〔男子1500m〕

第3位 片平佳希(2F2 東市来中)

また、大会では鹿児島県陸上競技協会による

2025年度の表彰も行われました。

〔優秀指導者賞〕

宇都翔太教諭(駅伝部顧問) 2年連続都大路出

場インターハイ出場など

フェンシング部

7月4日～5日

令和8年度全九州高等学校総合体育大会
フェンシング競技

〔女子学校対抗〕

優勝 ※初優勝 永井凜風(3J2 松元中)

中村結衣花(2J2 城西中)

小世愛呼(2J2 帖佐中)

小森園芽音(1J3 清水中)

〔女子エヘ個人〕

優勝 山下 永美梨(3J2 坂元中)

〔男子エヘ個人〕

準優勝 川井田晩(2F1 垂水中央中)

水泳部

7月4日～5日

2026年度鹿児島県選手権
水泳競技大会

〔競泳〕

〔男子50m自由形〕

第2位 中村斗雅(2F7 鴨池中)

※県高校新記録

〔男子100m自由形〕

第5位 中村斗雅(2F7 鴨池中)

〔男子50mバタフライ〕

第6位 森山瑛志(3F5 坂元中)

〔男子100mバタフライ〕

第7位 森山瑛志(3F5 坂元中)

〔女子50m平泳ぎ〕

第1位 國科 姫菜(3J2 吉野中)

第5位 中園佑文(2F6 川内中央中)

〔女子100m平泳ぎ〕

第6位 國科 姫菜(3J2 吉野中)

〔女子200m平泳ぎ〕

第5位 國科 姫菜(3J2 吉野中)

〔女子400m自由形〕

第2位 前ノ園 杏奈(2J1 星室中)

〔女子800m自由形〕

第1位 前ノ園 杏奈(2J1 星室中)

〔女子50m背泳ぎ〕

第6位 高田蒼(3J1 星室中)

第7位 中村友紀(2F8 城西中)

〔女子100m背泳ぎ〕

第8位 高田蒼(3J1 星室中)

〔女子200mバタフライ〕

第6位 川添蒼月(3J1 松元中)

〔女子400m個人メドレー〕

第5位 池下 樹莉亜(3J4 和田中)

〔飛込〕

第1位 濱田 あり(1F3 松元中)

令和8年度全九州高等学校総合体育大会
第74回全九州高等学校水泳(競泳)競技大会

〔リレー競技〕

〔女子メドレーリレー4×100m〕

第7位 高田蒼(3J1 星室中)

國科 姫菜(3J2 吉野中)

池下 樹莉亜(3J4 和田中)

前ノ園 杏奈(2J1 星室中)

〔個人競技〕

第2位 中村斗雅(2F7 鴨池中)

※全国大会出場

〔男子100m自由形〕

第7位 中村斗雅(2F7 鴨池中)

※全国大会出場

〔男子50mバタフライ〕

第7位 濱崎優真(3J3 和田中)

〔女子400m自由形〕

第7位 前ノ園 杏奈(2J1 星室中)

〔女子800m自由形〕

第2位 前ノ園 杏奈(2J1 星室中)

※全国大会出場

〔女子100m平泳ぎ〕

第5位 國科 姫菜(3J2 吉野中)

〔女子200m平泳ぎ〕

第7位 國科 姫菜(3J2 吉野中)

〔女子400m個人メドレー〕

第7位 池下 樹莉亜(3J4 和田中)

本成績により、決勝種目で3位以内に入賞ま

たは全国大会参加標準記録を突破した男子

2種目・女子1種目、男子1名・女子1名の

計2名が8月13日(木)～16日(日)に滋賀県で

行われる令和8年度全国高等学校総合体育

水泳競技大会への参加資格を獲得しました。

〔軟式野球部〕

第71回全国高等学校軟式野球選手権

鹿児島大会

本成績により、7月30日(木)～31日(金)に開

催される南部九州大会への出場権を獲得しま

した。4季連続9回目。

〔書道部〕

四国大学主催 第55回全国高校書道展

副理事長賞 佐藤好(2EE2 紫原中)

特選 岡江優音(3ET1 小宿中)

柿木夏貴(3EE1 附属中)

蔵町心花(1F2 帖佐中)

園田奈央(1EE3 坂元中)

第30回鹿児島県護国神社主催

みたま祭り書道展

みたま大賞 久保奏凜(3F8 重富中)

岡江優音(3ET1 小宿中)

桜花賞 佐藤好(2EE2 紫原中)

菊花賞 岡江優音(3ET1 小宿中)

奨励賞 柿木夏貴(3EE1 附属中)

泉七田(2F8 清水中)

水口莉唯菜(1F6 西紫原中)

第27回高校生国際美術展

佳作 久保奏凜(3F8 重富中)

岡江優音(3ET1 小宿中)

吉富花奈(2F1 修学館中)

向窪莉々(2F5 甲南中)

泉七田(2F8 清水中)

佐藤好(2EE2 紫原中)

その他の活動

自治医科大学 高校生小論文・

プレゼン動画コンテスト

入賞 岡江優音(3ET1 小宿中)

検定

2026年度 第1回英検

準級 小瀬戸咲希(2ET1 附属中)

西心遥(2EE1 城西中)

幸徳和雄(3EE2 西紫原中)

小野明日香(3ET1 帖佐中)

かけはし / 7月号

★2026年度クラスマッチ

7月2日(木)・3日(金)、1学期のクラスマッチが行われました。今回から種目設定が新しくなりましたが、混雑なくスピーディーに試合が展開されました。特に、梅雨の晴れ間を縫って校庭で実施された新種目、ドッジボールは大盛り上がり。クラスの絆を深めた2日間でした。

総合

1年

1位 1F9
2位 1ET1
3位 1F2

2年

1位 2F1
2位 2EE1
3位 2F4・2J2

3年

1位 3J4
2位 3F4
3位 3F1

ドッジボール

1年

1位 1F9
2位 1F8
3位 1EE3・1F3

2年

1位 2F1
2位 2F7
3位 2F2・2F3

3年

1位 3F4
2位 3J4
3位 3F2・3F5

女子バレーボール

1年

1位 1F9
2位 1EE1
3位 1F5・1J1

2年

1位 2J2
2位 2EE1
3位 2F4・2F6

3年

1位 3J4
2位 3F4
3位 3F7・3J2

混合バドミントン

1年

1位 1F2
2位 1J4
3位 1J2・1J3

2年

1位 2EE1
2位 2F4
3位 2F5・2J4

3年

1位 3F7
2位 3F1
3位 3EE1・3F3

オセロ

1年

1位 1ET1
2位 1J3
3位 1EE2・1F9

2年

1位 2F1
2位 2ET1
3位 2F3・2F4

3年

1位 3F1
2位 3EE2
3位 3J2・3J4

8月の行事予定

8月

31月	30日	29土	28金	27木	26水	25火	24月	23日	22土	21金	20木	19水	18火	17月	16日	15土	14金	13木	12水	11火	10月	9日	8土	7金	6木	5水	4火	3月	2日	1土
始業式(リモート実施)終了後身だしなみ検査(三弧会長選挙生)第2回実力テスト①			職員会議/教職員防災訓練(10時30分)/学園研修(修学館)/PTA委員会(17時)	夏期講座後期終了(1・2・3年)	和太鼓部定期演奏会(宝山ホール18時開演)	夏期講座後期開始(1・2・3年)	振休(8月23日)夏の体験入学②終日②	夏の体験入学②終日 振休(8月24日)終日	夏の体験入学①終日 振休(8月20日)終日	登校日・全校朝礼・体験入学準備生在補助員打合せ/図書特別貸し出し最終日/職員会議資料締切	振休(8月22日)夏の体験入学①終日①	就職希望者校内選考会②	転入試験/就職希望者校内選考会①	3年三者面談(一般入試中心)8月27日	定期清掃	学園夏季休暇	学園夏季休暇	学園夏季休暇	振休(10月24日)秋の体験入学	山の日		定期清掃		夏期講座前期終了(3年/ノイチタイム)/転入試験受付締切				グローバルスタディーズプログラム(1年英数科特選)8月7日	全統共通テスト模試(3年英数)	振休(7月25日)部活動体験入学②午後分/全統共通テスト模試(3年英数)